

[L D A — 1 N]

本機はLDA-1の入力部カスコード回路等を省略した反転、I/V専用のアンプモジュールです。

オーディオ用途ではLDA-1ADの反転使用と同等、ないしはそれ以上の音質が得られます。

初段のソース抵抗で動作電流を設定する方式ですので、電源電圧に合わせユーザーサイドで動作電流を最適化出来ます。（後述）

◎交直流の各仕様はLDA-1（AD）と同じですので、補償法を含め、そちらの資料を参照して下さい。

外形寸法	10W × 30L × 16H
消費電流	約6mA

〈動作電流の設定方法〉

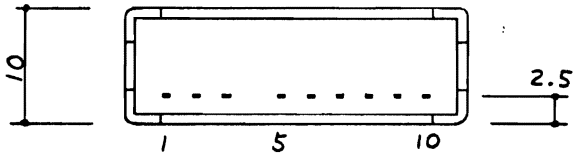
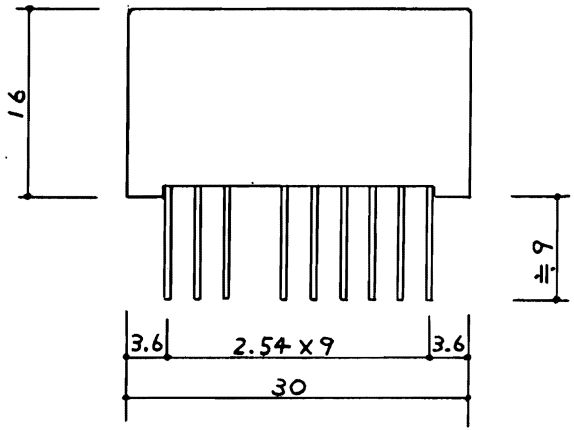
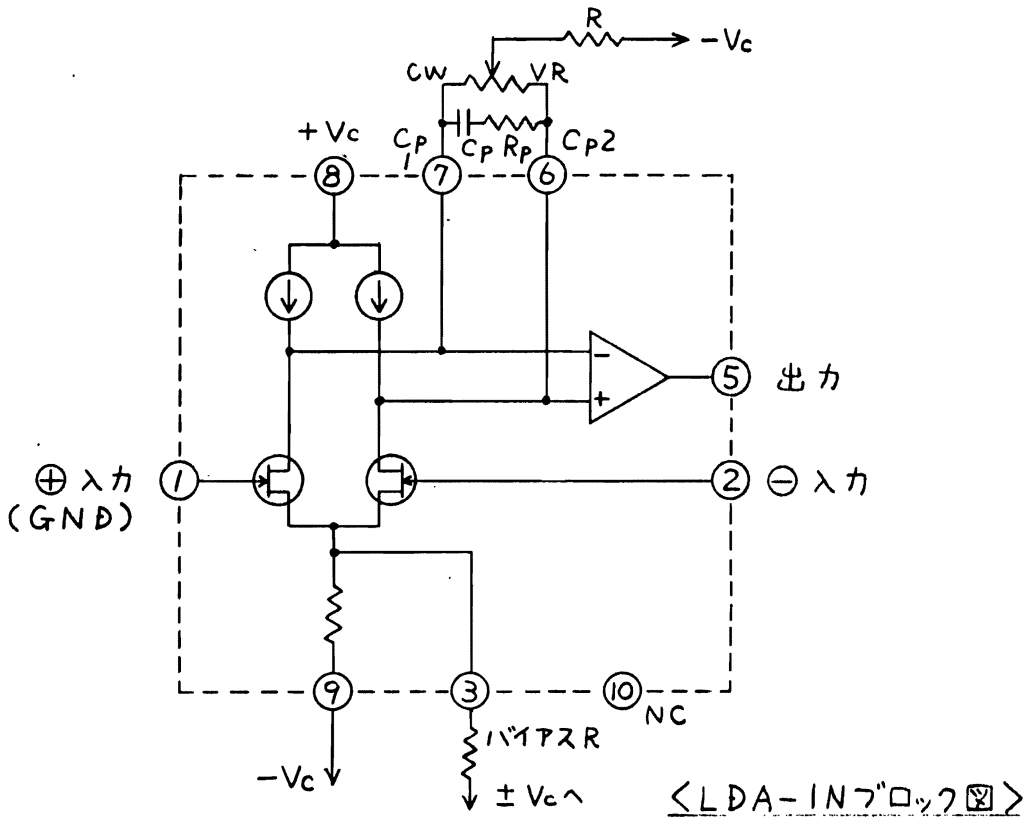
±V_cが1.5V時はバイアスR（R_b）は不要です。

±1.5V以外ではグラフより最適のR_b値を読みとり±V_cに接続してください。

（1.5V以下では-V_cに、1.5V以上では+V_cに接続します）

この最適化により、電源電圧にかかわらず、同一のオープンループ特性を得ることが出来ます。このバイアスRはオーディオ用途でも一般の抵抗で問題ありません。

参：動作電流を増やしますと、オープンループゲインも増大し、ひずみ特性は良くなりますが、発振しやすくなります。



ピン径 = 0.25 x 0.5

<外形寸法図>

